

事業所向け 放課後等デイサービス自己評価表

公表日： 2019年12月25日

事業所名 ひなた園

		チェック項目	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	基準とされる面積を有している事を、職員間で確認しました。今後は園庭等を活用し、より広々と活動できるようにしていきます。
	②	職員の配置数は適切であるか	担当の組み方を日々検討し、余裕を持って支援にあたるようにしていきます。親御さんが不安を感じる事のないように、落ち着いた対応を心掛けていきます。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	保護者向けアンケートのご指摘を受け、庭の敷石を埋め、段差を無くしました。これからも誰にでも過ごしやすい園を目指し、一つずつ改善していきます。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	ミーティングの時間を振り返りの時間に当てています。今後も時間をしっかりと確保し、多くの意見を現場に反映できるようにしていきます。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	今回が初めての実施ですが、保護者向け自己評価表を参考にしています。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	今年度開所なので、今回分から公開していきます。

	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	現状行っていません。同法人内の他園と、職員の研修を行い合うなどして、意見を求め質の向上を目指しています。
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	年に1回の全体研修に全職員が参加しています。常勤参加の研修の様子も、園内ミーティングで職員と共有しています。
適切な支援の提供	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	保護者とお話する時間を取り、意見を取り入れながら作成しています。
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	利用者登録カードと言う形で、状況把握に努めています。
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	園内ミーティングで、全員の意見を聞きながらプログラムを検討しています。
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	課題遊び→公園遊び→レク→制作を週毎にローテーションさせて実施しています。
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	長期休暇中は、開園時間やプログラムの内容を変更する等しています。利用時間の中で、様々な体験が出来るように日々検討しています。
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	個人の希望と、園での様子を踏まえて計画を作成しています。内容も偏りの無いように心がけています。

⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	週間の予定や、担当者の表など作成しています。職員が事前に理解を持って支援にあたるように努めています。
⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	デイサービス終了後は事務所に集まる時間を取っています。些細な事でも報告し、情報を共有するようにしています。
⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	毎回必ず個人の記録を取っています。日々記録を確認し、共有が必要な情報をすくい上げています。
⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	常勤職員が参加し、園でのミーティングで内容等を報告しています。
⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	ガイドラインに対する理解が職員間で差があったので、今後読み合わせを行い共通理解を図っていきます。
⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	常勤職員の中から担当者を決め、その人が参加するようにしています。
㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	学校お迎えの際には毎回声を掛け合い、情報交換をしています。
㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	現状、常に医療的ケアが必要な方の受け入れ体制が整っていません。ご利用の方、各自の主治医の連絡先や服薬状況については、事前に把握しています。

関係機関や保護者との連携
関係機関や保護者との連携

⑳	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	同法人内の児童発達支援事業所との情報共有を行いました。保護者を介して、就学前の様子を把握することにも努めています。
㉑	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	小学生を対象としたデイサービスの為、該当なしです。進級時には次年度利用事業と情報共有しています。
㉒	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	同法人内の児童発達支援センターと情報交換しています。
㉓	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	現状、機会をを持っていません。近所の方々との交流や、外部施設への関りから取り組んでいきたいと考えています。
㉔	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	事業所としての関りは持っていません。法人を通して、参加したいと考えています。
㉕	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	ご利用の際は、親御さんへの申し送りを毎回行っています。今後もたくさんお話しして頂けるような、関係づくりに努めてまいります。
㉖	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	保護者の方をトレーニングするような立場ではないので行っていません。常に寄り添いながら、共により良い関りを実現できるようにしたいと考えています。
㉗	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	ご契約時などに、より丁寧で分かりやすい説明ができるように心がけていきます。ご入園の前に、説明会等も実施することを検討しています。

保護者への説明責任等	③①	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	ご相談を受けた際は、各自指導員の経験を踏まえながら回答しています。必要な際は、職員間での検討を行い回答するようにしています。
	③②	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	保護者の負担を考え、実施していません。今後は、このような法人の意向を適切に伝えるようにしていきます。
	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	連絡体制等、整備しています。今のところ目立った苦情はお伺いしておりませんが、あった際には真摯に対応させていただきます。
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	「楽しみ」とのお声も頂くので、出来る限り多く発行していきたいと考えています。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	個人名の記載のあるものや、顔の分かるものはしっかりと処分しています。今後も職員間で意識の共有を徹底していきます。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	シンボルや絵・写真を用いたカードの使用しながら、サインを交えた活動の進行を行っています。自己表現の機会もたくさん取り、将来の意思表出の基盤を築きたいと考えています。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	現状行っていません。どんな方にも、いつでも関わっていただけるような園運営を心がけています。一部ボランティアの方の受け入れは行なっています。また、年2回同法人地域交流事業として商業施設にて、イベントを開催しています。
	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	マニュアルを分かりやすいところに掲示し、周知に努めています。保護者に対しても、適切にお伝えするように努めています。

非常時等の対応	③9	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	火災・地震・水害等、様々な場合を想定した訓練を行っています。
	④0	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	法人としての理念を繰り返し確認している他、県のチェックシート等も実施し意識を高めています。
	④1	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	職員間で、やむを得ない場合についての共通理解を図っています。主に移動時の安全確保です。
	④2	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	医師の指示書は受け取っていません。アレルギーの確認表という形で、保護者に記入・提出してもらっています。
	④3	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	作成し、ミーティングの時間に職員で共有しています。